

「現代社会学レビュー」執筆要項

(最終更新日：2025年6月23日)

オンラインジャーナル『現代社会学レビュー』では、社会学およびその関連領域の研究成
果を対象として原稿を募集します。以下の執筆要項をご確認の上、奮ってご投稿ください。

原稿提出先：紀要編集委員会 (ksu-sociological-review@cc.kyoto-su.ac.jp)

- a. 投稿資格：毎号の原稿締切時点で以下に該当する方々からの投稿を受け付けます。
- (1) 京都産業大学現代社会学部・現代社会学研究科の専任教員および非常勤講師。
 - (2) 同学部・研究科を定年退職した元専任教員。
 - (3) 京都産業大学の上記以外の学部・部局の専任教員。
 - (4) 京都産業大学大学院現代社会学研究科に在籍（休学も含む）している大学院生（「院生論文」のみ）。
- ※ 上記に該当しない方の投稿は、事前に編集委員会の承認が必要となります。詳細についてはご相談ください。
- ※ 複数人での「特集」を企画される場合、事前に編集委員会にご相談ください。特集を組む場合、上記に該当しない学外者の寄稿も可能です（学外共同研究者など）。ただし、原稿の取りまとめ等は特集の企画者に責任を持ってやっていただきますのでご了承ください。
- b. 各種締切：
- 投稿エントリー締切：12月末**（氏名・所属、原稿の種別を上記の編集委員会メールアドレスまで連絡してください）
- 原稿締切：2月末（厳守、上記の編集委員会メールアドレスに添付ファイルで提出）**
- ※図表等のためファイルサイズが大きい場合は、添付ファイルではなく OneDrive 等のファイル共有機能を用いて提出してください。
- ※院生論文の場合、3月中に査読および修正をしていただきます。
- c. 刊行予定は4月中旬ごろになります。
- d. 原稿の分量の目安：
- (1) 論文：和文の場合4万字程度、英文の場合1万6,000単語程度。
 - (2) 研究ノート：和文の場合4万字程度、英文の場合1万6,000単語程度。
 - (3) 院生論文（大学院生のみ）：和文の場合2万字程度、英文の場合8,000単語程度。
 - (4) 書評：和文1万5,000字程度、英文6,000単語程度。
 - (5) その他の原稿（「資料紹介」「翻訳」「業績紹介」「調査報告」「参加報告」「開催報告」「エッセイ」など）：文字数は編集委員会が適宜判断します。
- e. 院生論文の場合、原則として研究指導教員による査読が必須となります。そのため、原

稿提出と同時に、研究指導教員による「査読同意書」の提出をお願いしています。投稿するかどうかについて、事前に十分に指導教員との相談を行なってください。

- f. 人を対象とする研究の場合、京都産業大学の研究倫理委員会の審査による承認を受けた上で論文を投稿していただくことを強く推奨します（学外者の方は各所属先等の研究倫理審査）。
- g. 使用される画像等の著作権については執筆者自身の責任で適切に処理をしてください。著作権的に問題があると判断される場合は掲載をお断りする場合があります。
- h. 原稿は指定の原稿テンプレートに入力する形で作成してください。フォント等も勝手に変えないでください。
- i. 投稿される原稿は、本文・要旨いずれも、投稿者の母語以外の言語で執筆する場合は必ず投稿者の責任においてネイティブチェックを受けてください。
- j. 日本語もしくは英語以外の言語で本文もしくは要旨を執筆する場合、必ず事前に編集委員会に相談し、その指示に従ってください。
- k. 使用フォント：BIZ UD 明朝 medium、BIZ UD ゴシック、Times New Roman。
BIZ UD 明朝／ゴシックがパソコンにインストールされていない場合は、下記サイトの下の方にあるリンクから「MORISAWA BIZ+ 無償版」をダウンロード・インストールしておいてください（要ユーザー登録） → <https://www.morisawa.co.jp/products/fonts/bizplus/>
- l. ページ番号は編集委員会で付すので執筆者が勝手に付さないでください。
- m. 和文の場合、文章の句読点は「、」と「。」を使ってください。
- n. アルファベットと数字はすべて半角で入力してください。
- o. 図表は、**図 1 あいうえお**、**表 1 あいうえお**（英文の場合、**Fig. 1: hoge**、**Table 1: hoge**）のように、ゴシック体の太字（英数字は Times New Roman の Bold）でタイトルと通し番号を付けて、本文の適当な個所に挿入してください。
- p. 箇条書き番号は①のような機種依存文字を用いず、(1) あるいは 1) のようにしてください。
- q. 脚注は当該ページ下段に入れるページ内脚注の形式にしてください。脚注番号は「1, 2, 3…」（半角数字）の形式としてください。
- r. 引用文献の記載方法は日本語論文については「社会学評論スタイルガイド」に準拠することを推奨します (<https://jss-sociology.org/bulletin/guide/>)。ただし和文文献を記載する時には「、」と「。」は用いず「、」と「。」を用いてください。英文の場合は、Chicago Style や ASA Style 等に従うことを推奨します。日本語・英語いずれの場合も、論文内で適切に統一がなされていれば、著者の判断で別の記載法を用いても構いません。